

うえなえ

Vol.404 2022.1



社会医療法人こぶし

年 頭 所 感

法人運営本部長 大釜 薫

新しい年を迎えるにあたり、大釜法人運営本部長に社会医療法人こぶしの2021年を振り返りながら、今後の展望などを語ってもらいました。

皆さんはどのような新年を迎えましたか。

私が前回の年頭所感を執筆したのが2019年の年明け。当時の原稿を読み返すと、前年の2018年9月に胆振東部地震が発生し、当院も停電などで混乱が続き、大変な思いをした事が当時の原稿から思い出されました。2018年の世相を表す漢字が、地震や自然災害が多く『災』の文字だったことから、私は2019年こそ良い年になるようにとの思いを込めて、当時の年頭所感を執筆した記憶があります。ところが、2019年12月に中国武漢で原因不明の肺炎が流行との報道が…。

あれから2年、皆さんもきっと同じ想いでしょうが、本当に新型コロナに振り回された2年間でした。近隣の医療機関や道内の精神科病院で感染者の報告があるたびに、当院は大丈夫なのか、現状の感染対策で十分かなど、何度も感染対策委員会を開催して対策を検討していました。幸いにも当院は、職員の皆様および利用者ならびにご家族のご理解ご協力により、新型コロナ感染者が発生することなく今日を迎えることが出来ました。皆様のご理解ご協力に深く感謝申し上げます。

しかし、新型コロナに翻弄されているだけでは、法人にとっての新たな一歩を踏み出す事は出来ません。コロナ禍で対応に追われる中、法人構想会議において将来構想について検討を重ね準備を進めてきました。その結果昨年より様々な事業計画が始動し、いよいよ今年から来年にかけて『社会医療法人こぶし』の将来構想が本格的に始動します。その事業計画の一部ですが、今年は電子カルテの導入を計画しています。電子カルテを導入することで業務の効率化を図り、診療体制の強化および医療提供体制の充実を目指したいと考えております。また、入院や受診について気軽に相談して頂き、且つ円滑に入院や外来受診へと繋げるための新しい部署の創設も計画しております。今年春にはホームページのリニューアルを行う予定で、これら事業計画の進捗状況について、ホームページを通して皆様に発信していきたいと考えております。

そして今年2月末には長年地域の皆様に親しまれ、惜しまれつつも閉院することになった千歳こぶしクリニックですが、これも新築移転を見据えた将来構想における診療体制強化の一環として、植苗病院へ統合することになりました。利用者の皆様には大変ご不便ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナにつきましてはまだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、今年は法人にとって大きな飛躍の年になる事を願い、新たな時代の一歩となる出発点して新年を迎えたいと思います。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。





とまこまい医療介護連携センター
医療ソーシャルワーカー
主任介護支援専門員 本間啓介

広報委員：本間さんの略歴や現在のお仕事について教えてください。

本間さん：高校生の頃から「病気や事故など、その人その家族の人生が大きく変わる時にかかわる福祉の仕事、病院の医療ソーシャルワーカーになりたい」と社会福祉系の大学を経て、5か所の病院で様々な経験を積みました。苫小牧には、初めに勤めた病院で当直に来ていた現院長先生との出会いがご縁で2001年に苫小牧東病院着任しました。その後、三光地域包括支援センター（現：明野地域包括支援センター）を経て、昨年よりこの職場に勤めています。

当センターは、2017年4月より苫小牧市が医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進する目的で、在宅医療・介護連携推進事業の委託を受けています。現在、在宅医療提供体制の拡充や医療と介護の多職種連携強化に力を注いでいます。その中で、私は医療や介護関係者等からの在宅医療・介護連携に関する相談を受け、連携調整、情報提供などを行い、市民のみなさんからの在宅医療に関する相談に対応しています。そのために、医療・介護関係者の連携を促進するための情報交換会や多職種研修会を企画・開催しています。

広報委員：そうしますと、前回インタビューを受けてくださった伊藤さんから「先日の往診の件では大変助けられました。今後、内科以外での往診や仕組み作りをお願いしたいのですが」と質問がありますが、これについてはいかがでしょうか？

本間さん：はい、私自身も包括勤務時代に同じ思いを感じていました。今年度、連携センターの委託法人が苫小牧市医師会となり、専門的疾患における訪問診療の相談時には、アウトリーチも含めたバックアップ体制の協力も得られることになり、現在仕組みづくりが進行中です。

広報委員：本間さんにとって関係機関との「連携」というのはどのように考えられていますか？

本間さん：ご相談された方の困り事について、情報提供だけではなく不安や問題解決までの経過を手を取り合ってつながる、ことでしょうか？そのためには「この支援者に相談したらこういう対応をしてもらえる」といった「相手のことがわかること」がとても大切ではないかと思っています。

広報委員：今後どのような「連携」ができればいいとお考えですか？

本間さん：「連携」の先の「協働」です。さきほどの話にもつながるのですが、「協働」は、同じ目的を持って一緒に働いて考えて動いていくこと、です。中心にいるのはご本人さんです。そのご本人さんが望む生活について支援いくことだと思っています。その時に、ご本人の事を「よろしくお願いします」と手渡しできる支援者とのつながりができたらと願っています。

広報委員：最後に日翔病院医療ソーシャルワーカーの堀江さんへの質問をお願いします。

本間さん：日翔病院の医療ソーシャルワーカーとして、大事にしていることや私ってソーシャルワーカーだなと感じる時があったら教えて下さい。

広報委員：私たちも日頃より大変お世話になっています。今後どうぞよろしくお願いいたします。



介護支援専門員 本間さん

活 動 報 告

ピアサポディ（植苗病院）

12月21日のピアサポディにサンタクロースがクリスマスカードを持ってきてくれました。新型コロナウイルスの影響で活動に制限がかかるなか、ピアサポーターの皆さんの12月らしい演出に参加者の皆さんも喜んでいました。



フィナーレの会（千歳こぶしデイケア）

デイケア最後のプログラム「フィナーレの会」が12月20日に行われました。午前中は懐かしい写真をスライドショーで見たり、以前千歳にいたスタッフから寄せられたビデオメッセージを見たり、デイケアの思い出を語り合ったりなどして過ごしました。スタッフお手製のシチューと共にお弁当を食べたあとは寺岡先生・田中先生からのご挨拶。豪華景品が当たるビンゴを楽しんだ後は、ちょっといいおやつをいただき、最後の集合写真を撮って解散となりました。



恋心雪と一緒に積もってく

★光伸

さわやかな虹がきれいだ素敵な日

★さやか



小学校の国語の教科書にキュリー夫人の伝記が載っていて「私は疲れた時は本を読むことにしています。本を読んでも頭に入らない程疲れた時は数学の問題を解く事にしています。」という言葉がありました。すごいなと思いました。私は凡人なので疲れた時は寝るか甘い物を食べます。和菓子、洋菓子、両方OKです。

甘い物に合わせる飲み物は紅茶が多いです。それは多分大学生の頃下宿していたお宅が朝紅茶とパンだったことが影響していると思います。紅茶の王様はダージリンのセカンドフラッシュだと思いますが、私はファーストフラッシュの方が好きです。今回のファーストは最高の出来だと思っています。このコロナ禍の中インドの方は頑張ってくださいと思います。でもファーストは色味が薄く赤茶色じゃないのであまり紅茶になじみのない方には人気がないようです。でも一度飲むとやみつきになりますので是非一度お試しください。ただ濃厚なチョコレートだと紅茶が負けてしまうので、私もその時はコーヒーにします。皆さんもお忙しいとは思いますが紅茶を入れてゆったりとした時間を楽しんでください。

(H.Y)

お 知 ら せ

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2022年4月1日（金）より社会医療法人こぶし外来担当医が下記のように変更になります。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら植苗病院受付にご確認ください。

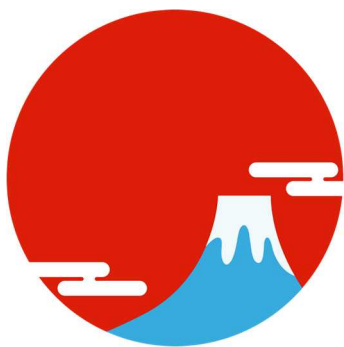
		月	火	水	木	金
植苗病院 精神科	午 前	高木※ 川 並	阿 部	高 木	高 塚	河 野
	午 後	-	阿 部	高 木	高 塚	-
柳町診療所	午 前	片 岡	望月※ 小 熊	片 岡	片 岡	片 岡 小 熊
	午 後	片 岡	望月※ 小 熊	片 岡	片 岡	片 岡 小 熊

※は予約制となっておりますので、詳しくは各外来にお問い合わせください

◆ 巡回バスの変更について ◆

12月1日（水）より巡回バスの停留所および停車時刻が変更になります。詳細は窓口にて配布しております巡回バス時刻表かホームページ（<http://www.uenae-hp.or.jp/bus2.pdf>）にてご確認ください。巡回バスをご利用されている皆様にはお手数をお掛けいたしますが、よろしくお願いいたします。

※Googleなどの検索サイトにて“植苗病院”で検索していたくと社会医療法人こぶしのホームページにたどり着けます



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発 行
社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



鏡餅

＜ 後記 ＞

年末年始どの様に過ごされましたか？私は仕事をしていました。

今年も「うえなえ」をどうぞよろしくお願いいたします。

(Y)